

令和3年度

決算のあらまし



収入 25億4,806万9千円

支出 22億3,166万2千円

経常外収入
4億1,488万4千円
別途積立金から
3億3,000万円繰り入れ
しました

その他経常収入
1,461万1千円

収入支出差引額
3億1,640万7千円

経常外支出
2,853万2千円

その他経常支出
4,154万2千円

保健事業費
9,171万3千円
各種検診・人間ドック
受診補助やインフル
エンザ予防接種補助など
を行いました

経常収入支出差引額
▲6,994万5千円

保険料
21億1,857万4千円

収入の大部分は、みなさん
と事業主が納める保険
料です！

納付金
10億1,792万7千円

お年寄りの医療を支える
ために国へ納めました
前年度比2億967万5千
円増加しました

保険給付費
10億5,194万8千円

医療費支出が前年度比
2,180万7千円減少しま
した
健康管理に留意して、健
康維持・増進に努めま
しょう！

決算の基礎数値

被保険者数	4,455人
平均標準報酬月額	332,402円
保険料率	98/1000
事業主	49/1000
被保険者	49/1000
決算残金	3億1,640万7千円
別途積立金	3億1,638万8千円
財政調整事業繰越金	2万円
翌年度への繰越金	0円

先の組合会において、当健康保険組合の令和3年度決算が承認されました。
その概要をお知らせします。

健康保険

▶ 経常収支差引額 ▲6,994万5千円

令和3年度は、保険料率を前年度の45/1000から49/1000に見直したことにより、保険料収入が前年度比1億8,193万2千円増加しました。

支出では、出産に係る現金給付費の減少等により、保険給付費において前年度比2,180万7千円の減少、前期高齢者に係る医療費の伸びが著しく、前期高齢者納付金

が激増した結果、高齢者医療制度への納付金は前年度比2億967万5千円増加しました。

組合財政の健全性を示す経常収支差引額は6,994万5千円の赤字となりましたが、別途積立金等から繰り入れ、収入支出差引額は3億1,640万7千円となりました。

介護保険

▶ 収支差引額 609万1千円

前年度に引き続き、介護保険料率を据え置いた結果、介護保険収入は2億33万8千円となりました。

一方、支出である介護納付金は1億9,424万7千円となり、収入支出差引額は609万1千円の黒字決算となりました。

健康保険組合を取り巻く状況

健康保険組合連合会(健保連)が公表した「令和4年度健康保険組合の予算早期集計結果(概要)」によると、赤字組合が前年度比105減の963組合で全体の約7割となりました。

保険料などの経常収入は、前年度比3.3%増の8兆3,869億円、医療費などの経常支出は0.5%増の8兆6,638億円で、2,770億円の経常赤字となりました。また、収支を均衡にするための実質保険料は前年度比0.2%減の9.85%となりました。

支出では、義務的経費のうち高齢者医療への拠出金は、前年度比5.7%減の3兆4,514億円となりました。これは新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う令和2

年度の高齢者医療費の一時的な減少によるものであり、一時的かつ極めて異例なものと言えます。一方、収入では、前年度に比べ、平均標準報酬月額・平均標準賞与額ともに回復傾向にはあるものの、新型コロナウイルス感染拡大前の令和元年度決算と比較すると、平均標準報酬月額0.1%減、平均標準賞与額5.1%減と、依然として低い状況が続いています。

令和5年度以降は、「団塊の世代」が75歳に到達し始めることにより、後期支援金が増加局面を迎えるため、拠出金全体の急増が見込まれ、健保組合は厳しい状況が続くことが予測されます。

介護保険の収支

決算の基礎数値

徴収対象第2号被保険者数	1,997人
平均標準報酬月額	356,257円
保険料率	18/1000
事業主	9/1000
被保険者	9/1000
決算残金	609万1千円

収入

科目	金額
介護保険収入	2億33万8千円
収入合計	2億33万8千円
準備金への積立	609万1千円

支出

科目	金額
介護納付金	1億9,424万7千円
支出合計	1億9,424万7千円
翌年度への繰越金	0円

令和3年度に実施した主な保健事業

保健指導とPR

- ◆機関紙「健保だより」…全被保険者に配付 [4・7月]
- ◆医療費通知…被保険者・被扶養者の該当者に通知 [2月]
- ◆健康年齢通知…対象者1,701名に通知 [10月]
- ◆受診勧奨通知…対象者177名に通知 [8・12月]
- ◆ジェネリック差額通知…対象者1,216名に通知 [9・3月]

- ◆健康者表彰…1年間以上保険診療を受けなかった人を表彰。受賞者289名 [10月]
- ◆小冊子「社会保険の知識」…新規入職者に配付 [4月]
- ◆育児図書月刊誌「赤ちゃん和妈妈」…出産された被保険者(配偶者分娩を含む)に配付。対象者133名 [1年間]

病気の予防

- ◆特定保健指導事業…40歳以上の被保険者・被扶養者のうち、生活習慣病の発症リスクをもつ人に保健指導(積極的支援・動機付支援)を実施。受診者延べ261名
- ◆人間ドック…健診費用を補助。満35歳以上対象、受診者1,723名
- ◆脳ドック…健診費用を補助。40歳以上の被保険者・被扶養者対象、受診者3名

- ◆口腔内ケアセット…「菌と口の衛生週間」に併せて全被保険者に配付 [6月]
- ◆インフルエンザ予防対策…予防接種費用を補助。全被保険者を対象に実施 [11月～12月]

体育奨励

- ◆プール利用斡旋…指定施設での利用者に斡旋。総利用者171名

- ◆関西サイクルスポーツセンター…利用者に補助。総利用者23名